

下呂の野口雨情記念碑

下呂市内の名所や観光スポットには詩が刻まれた記念碑が 14 基あります。これらの記念碑は日本で最も愛されている童謡をいくつか書いた有名な詩人であり作詞家である野口雨情（1882 年-1945 年）を記念して建てられました。

雨情（野口のペンネーム）は 1938 年に下呂を訪れ、温泉街への思い出を示した一連の詩を綴りました。それぞれの詩は森水無八幡神社の有名な古代杉など地元の名所旧跡や観光スポットを詠っています。

いくつかの記念碑は雨情公園にあります。この緑豊かな木々が生い茂るエリアには浅い川沿いに舗装された遊歩道があり、温泉街のにぎやかな商業地区から離れてひと休みできます。公園内にはこの詩人の胸像もあります。他にも下呂温泉神社付近、六見橋脇、駅広場、下呂温泉合掌村などに記念碑が設置されています。